

観光振興の支援及び 多様な機能を持った「道の駅」の 新たな展開について

平成19年3月30日
国土交通省道路局

目次

1) 観光振興の支援について

1. 論点整理での指摘とインタビューでの代表的な意見
2. 道路行政における観光振興施策の視点

2) 多様な機能を持った「道の駅」の新たな展開について

1) 観光振興の支援について

1. 論点整理での指摘とインタビューでの代表的な意見

(1) 論点整理における指摘事項

観光は、国民生活の充実、産業としての将来性、国際交流に果たす役割などの観点から国をあげて取り組むべき分野であり、道路行政としてもより積極的な支援を行うべきではないか。
観光地へのアクセス向上、道路と沿道が形成する観光資源の整備、観光地の再開発、観光に寄与する情報発信等について、積極的な施策展開を進めるべきではないか。

(2) 論点整理で挙げられている代表的な意見

広域観光拠点、空港等とのアクセス向上を図るため、道路ネットワーク網の整備を進めるべき
観光振興・地域活性化のために、さらなる道路整備を進めるべき
地域の文化・自然・歴史・景観等の特色を活かし、道路も観光資源として整備すべき
わかりやすい道路標識や案内板等の整備を積極的に進めるべき
観光振興には地域資源の発掘・まちづくりの再生等、観光地自体の魅力向上が必要

(3) 論点整理で挙げられていない意見のうち、代表的な意見

単に広幅員の立派な道路を観光地へのアクセス道路として一律的に建設することが、全ての観光地の振興に寄与するものかの検討が必要。
観光振興で重要なのは、観光地の人々の取り組み意欲であると思う。道路として支援するのは、観光地の取り組み状況や成果を総合的に判断し、優先順位をつけて行うべき。
観光開発と自然環境の調和をどう図っていくかが問題。
道路整備はまず生活第一で、観光については、極論であるが魅力がある観光地であれば自然に人は集まってくると思う。
いい道路をつけるだけでは立ち寄りせず、素通りとなってしまう恐れがある。
整備しすぎると宿泊客の減少を招くなど逆効果かもしれない。
ネットワークやアクセスの整備だけでは観光地の価値向上や観光振興には直結しない。

2. 道路行政における観光振興施策の視点

観光に資する道路施策は、エリア内の交通円滑化施策、観光地へのアクセス向上、魅力ある空間の構築、協働による道路そのものの価値の向上、案内の充実に分類できる。

	観光地へのアクセス向上	まちなみの魅力向上	案内の充実
観光 エリア内	エリア内の交通円滑化 施策 <ul style="list-style-type: none"> ・渋滞対策 ・交通抑制施策 	魅力ある空間の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者空間の整備 ・無電柱化・修景 	案内の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者用標識 ・自動車用標識 ・「通り名で道案内」方式の導入 ・カーナビ等ITSの充実
観光 エリア外	観光地へのアクセス向 上 <ul style="list-style-type: none"> ・広域的なアクセス道路の整備 ・有料道路の料金割引 	協働による道路そのもの の価値の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・日本風景街道 	

2. 道路行政における観光振興施策の視点

エリア内の交通円滑化施策（例：秩父地区交通円滑複合的社会実験）

観光エリア内の円滑な移動を実現するため、エリア内の自動車の出入りを抑制するTDM施策等を実施。

- 1. 秩父地区では、芝桜シーズン時期の渋滞は県平均の2.5倍(全国ワースト4位)
- 2. 渋滞緩和のため、下記の社会実験を実施予定

実施期間：
平成19年4月22日～5月6日の土・日・祝

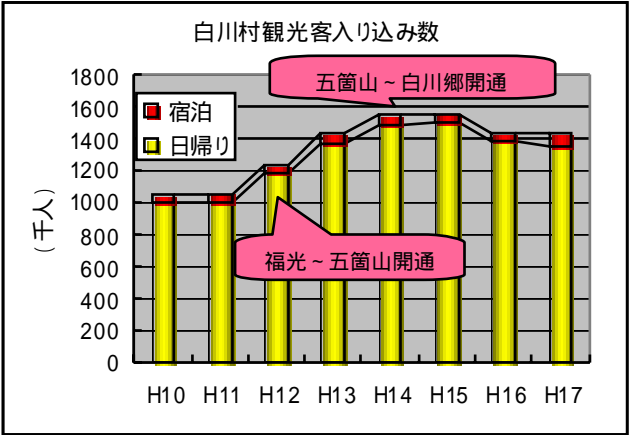
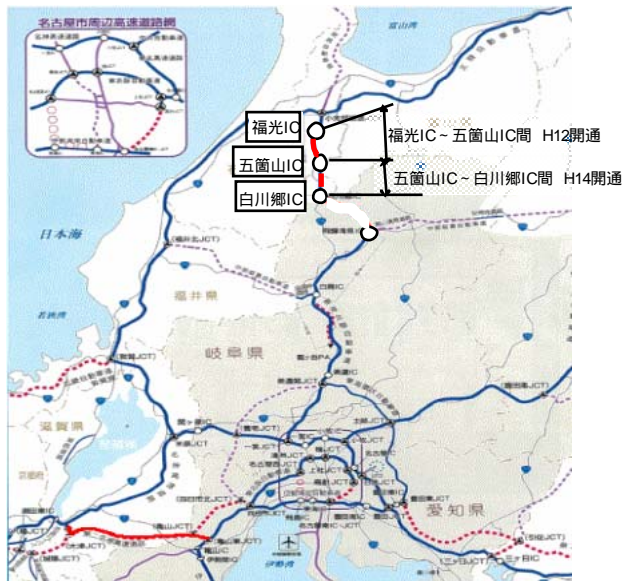
実施内容：
流入規制を行い、規制エリア周辺に駐車場を設置して公園との間にシャトルバスを運行
パーク&レールライド
パーク&バスライド(秩父市が実施)
リアルタイム情報提供



2. 道路行政における観光振興施策の視点

観光地へのアクセス向上 (例: 東海北陸自動車道(白川郷))

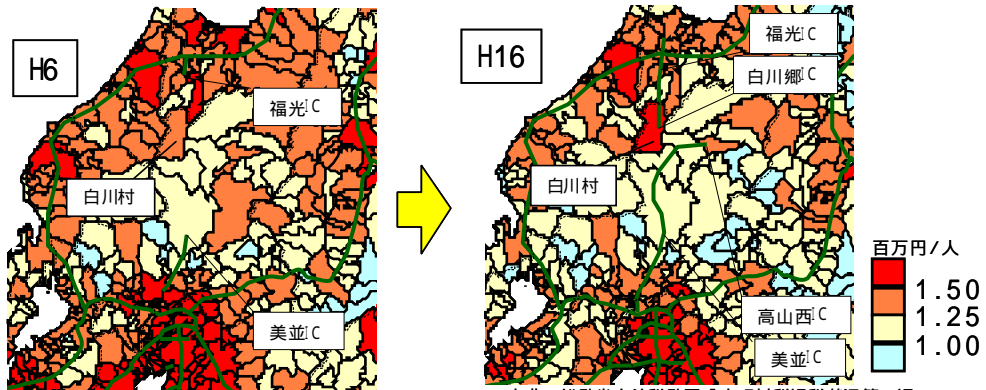
1. 白川村においては、東海北陸自動車道の開通を契機に観光客入り込み数が増加。
2. 今後、東海北陸自動車道の全線供用、中部縦貫自動車道との接続により岐阜北部の観光客の増大が期待される。



ライトアップされた冬の世界遺産 白川郷



白川村の一人あたり課税対象所得額が増加



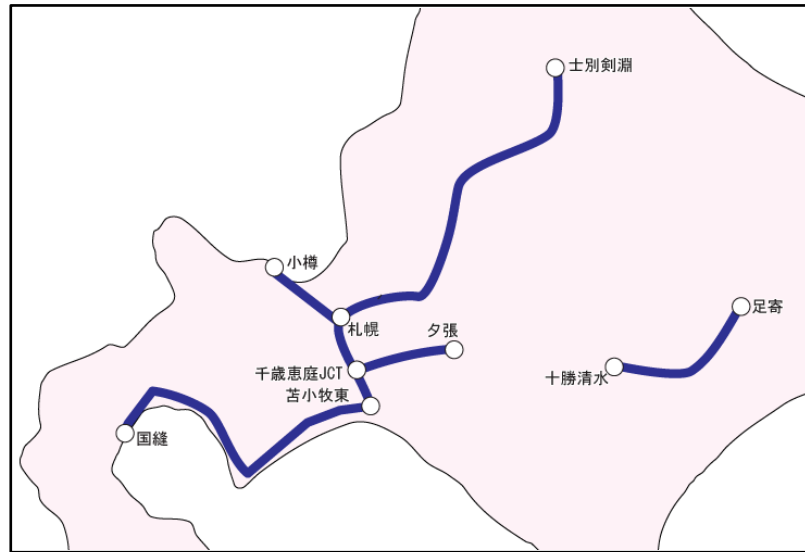
出典) 総務省自治税務局「市町村税課税状況等の調」

2. 道路行政における観光振興施策の視点

観光地へのアクセス向上 (例: 東日本高速会社による料金割引)

有料道路の料金割引により、観光地へのアクセスを向上。

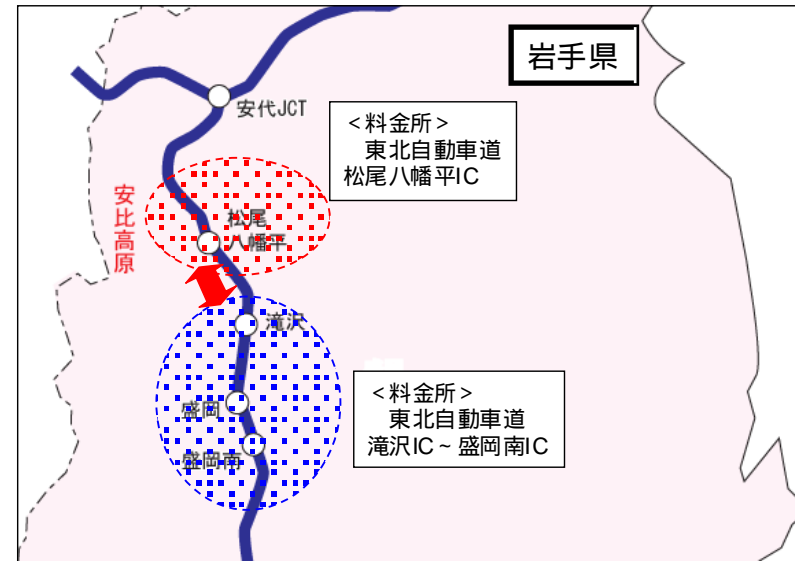
【北海道 ETC夏トクふりーぱす】



割引概要	北海道内の高速道路が週末3日間乗り放題
料金	普通車: 7,000円、軽自動車等: 5,500円
実施期間	平成18年7月7日～9月25日の金・土・日・月曜日のうち、連続する3日間 お盆時期は曜日に関係なく連続する3日間

販売実績: 約5,770件

【安比高原スキー場ETC遊遊割引】



割引概要	松尾八幡平IC 滝沢IC～盛岡南ICの往復料金が半額 スキー場利用料金、食事券等もセットで割引
実施期間	平成19年2月3日～3月11日の土・日・祝日

販売実績: 236件(速報値)

2. 道路行政における観光振興施策の視点

魅力ある空間の構築 (例: 福島県^{ふくしま}大内宿)

徒歩による周遊を魅力的にする快適な歩行空間を確保。

1. アスファルト舗装を撤去し砂利道整備など、宿場町としての風情を再生

事業期間:平成8年度～12年度
事業内容:木橋、既存構造物の修景、案内板設置、休憩施設設置、アスファルト舗装の撤去及び砂利道整備

観光客が約2万人 (昭和60年) から 約80万人に (平成17年)

大内宿位置図



大内宿全体図



茅葺き屋根の葺き替え



アスファルトを撤去して街道を復元

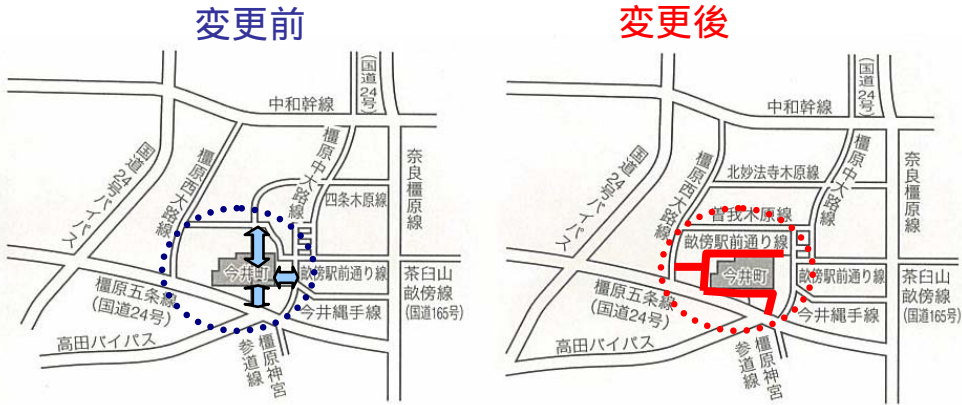
2. 道路行政における観光振興施策の視点

魅力ある空間の構築 (例: 歴史的な街並みを活かした街路事業(奈良県橿原市))

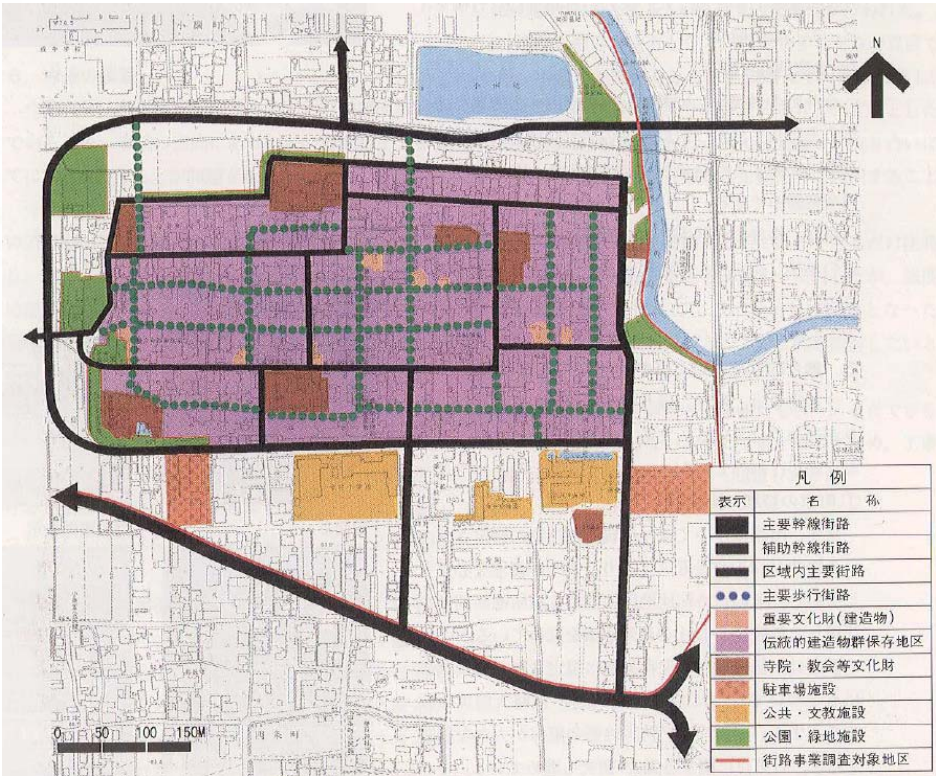
都市計画道路の見直しによる通過交通の排除と歴史的街並みと調和した道づくり。

1. 歴史的街並みが残る地区への通過交通の排除を目的に都市計画道路を見直し、徒歩で地区内を周遊できる歩行者優先のまちづくりを実施
2. 歴史的街並みと一体となった街路整備により、多くの観光客が来訪。(年間入込客数10万人以上)

都市道路網の見直し



歴史的な街並みの保全と合わせた歩行者優先の道づくり



今井地区の歴史的な街並み



2. 道路行政における観光振興施策の視点

魅力ある空間の構築 (例: 青森県の^{たちねぶた}立佞武多祭り)

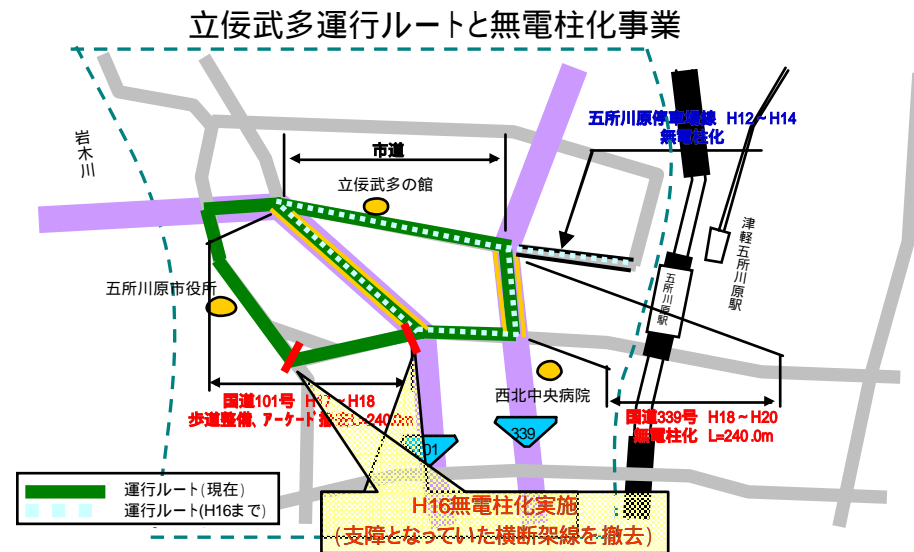
無電柱化により、観光地としての魅力をより向上。

1. 無電柱化により、立佞武多の動ける範囲が拡大し、伝統的な祭りの本来の姿が復活。

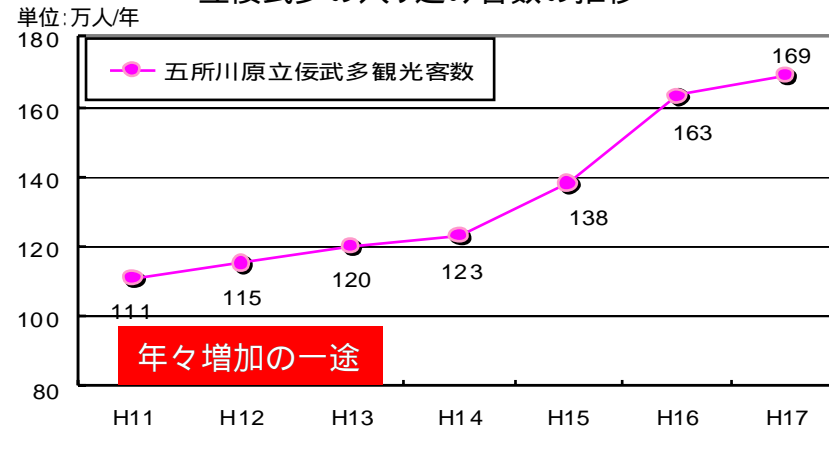
電線に阻害され立佞武多の動く範囲が限定



無電柱化により、より迫力のある祭りが復活



立佞武多の入り込み客数の推移



案内の充実 (例:案内標識の多言語表記)

多言語化等による案内標識等の充実。

自動車用案内標識

ローマ字併用表示を基本。外国人にもわかりやすいピクトグラムを活用。ただし、車両系の案内標識については、あくまでも視認性の確保を優先。

観光客の情報に対するニーズを踏まえつつ、システム化されたシンプルな情報を、外国人を含む観光客にわかりやすく提供するために必要な標識の整備を推進



歩行者用案内標識

歩行者系の案内標識では、絵文字(ピクトグラム)の活用と、中国語、ハンゲル語等の多言語での案内を実施



凡例 / Legend	
	バス路線 / 停留所 / Bus Route / Bus Stop 公交车线路 / 公交车站 / 버스노선/정류장
	案内所 / Information Office (Q. and A.) 询问处 / 안내소
	案内地図 / Information Map 导游图 (旅行用) / 안내지도
	国道番号 / National Highway Route No. 国道号 / 국도번호
	エレベーター / Elevator 电梯 / 엘리베이터
	トイレ / Toilets 公共厕所 / 화장실
	広域避難場所 / Safety Evacuation Area 安全避难场所 / 대피소
	官公庁 / Govt. or Municip. Offices 政府机关 / 관공서
	鉄道駅 / Railway Station 火车站 / 전철역
	地下鉄出口番号 / Subway Exit No. 地铁出口号 / 지하철출구번호
	タクシーのりば / Taxi Stop 出租汽车站 / 택시승강장
	バスターミナル / Bus Terminal 公交车总站 / 버스터미널

ピクトグラム

「凡例」を多言語で表記

2. 道路行政における観光振興施策の視点

案内の充実 (例:「通り名で道案内」方式)

道路名称と位置番号を活用することにより、わかりやすい道案内を実現。

観光地・旧市街地において、通り名による道案内の導入を推進
(平成18年度には全国13地域において社会実験を実施)

「通り名で道案内」のメリット

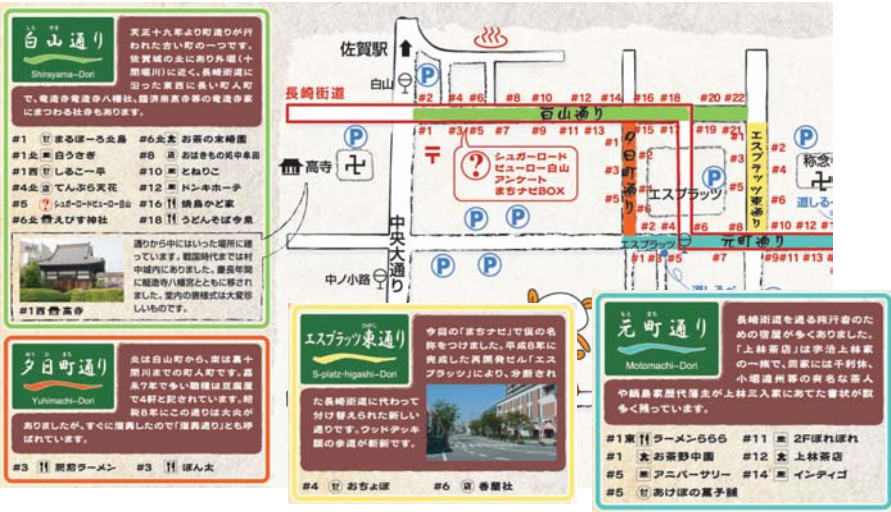
通り名と位置番号を使って案内すれば、地域に不慣れな人でも場所の説明や確認がし易く、分かりやすく道案内が可能。

- ・目的地に面する通りまでたどり着いたら、位置番号から、現在地から目的地までの距離がおおよそ予測可能。
- ・沿道右側に奇数の位置番号、左側に偶数番号が付いているので、どちらの方向に向かって位置番号が増加するのが、現地でも把握可能。

「通り名で道案内」イメージ

- 1) 通り名を表示。
- 2) 通りの起点から概ねの距離の位置番号を表示。(10m単位)
- 3) 位置番号は、起点を背に右側に奇数、左側に偶数。

(例)



日本の道は分かりにくい?

日本の住居表示は、道路、鉄道、河川などによって区画された地域に付けられるブロックと、その地域内の建物に付けられる番号で表示します。

例) 日本の『首相官邸』の住居表示は、東京都千代田区永田町2丁目3-1。

この方法だと、住居表示だけを聞いても、どの辺にあるのか想像が付きません。仮にタクシーに乗っても、ドライバーへの案内が難しいです。

海外では、どうなっているの?

欧米では、道路の名称と、道路沿いの建物に順序よく付けられている番号で表示します。

例) アメリカの『ホワイトハウス』の住居表示は、1600 Pennsylvania Avenue NW Washington, DC



出典: WORLD TRAVEL ATLAS USA Southan Canada & Alaska (GeoCenter)

社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会 「今後の道路政策の基本的方向について(論点整理)」(平成18年6月1日)における指摘事項

第1部 道路政策をとりまく環境

1. 道路政策の歴史

(3) 平成の道路政策

- ・高度な物流サービスを活用した生産システムの高度化、宅配やコンビニ等のサービス向上、広域的な観光・レジャーの充実など、ニーズの高度化、多様化に対応した道路整備が求められる。

2. 今後目指す社会と道路政策の関わり

(1) 少子高齢化が進む社会においても活力ある国民生活の創造

- ・急増するリタイア世代が多様な価値観に基づき、都市と田舎の二地域居住やキャンピングカーでの国内旅行など、個性的で豊かな生活を求めていける社会を目指す上で、「安全・円滑で快適な移動」の確保が必要である。

第3部 具体的な施策内容に関する論点

1. 施策展開における主な論点

(2) 景観・文化的価値の創造と環境の保全

景観・文化的価値の創造

- ・まちづくりや観光に資する観点から、緑陰や並木のある道路、歴史のある橋梁や街道などの道路施設の価値を再認識し、文化資産として整備することも必要ではないか。

観光振興への寄与

- ・観光は、国民生活の充実、産業としての将来性、国際交流に果たす役割などの観点から国をあげて取り組むべき分野であり、道路行政としてもより積極的な支援を行うべきではないか。
- ・そのため、観光拠点へのアクセス向上、道路と沿道が形成する観光資源の整備、観光地の再開発、観光に寄与する情報発信等について、積極的な施策展開を進めるべきではないか。